

# 津山市親育ち応援学習リーダー養成講座（出前講座）

期 日：平成28年7月9日（土曜日） 会場：津山市役所東庁舎  
参加者：保育士、保護者、家庭教育支援チーム、NPO法人、行政担当 等 24名  
内 容：（1）ミニ講座「親育ち応援学習プログラムについて」  
（2）ワークショップ「実際のワークを体験してみよう！」

講師：ワークショップ研究家 日置 三津子 氏



## ミニ講座

「親育ち応援学習プログラム（親プロ）」作成の経緯と進行役としてのファシリテーターの役割について説明しました。

家庭や地域の環境の変化より、親育ちや子育ての支援の必要性が高まっています。そこで、岡山県が作成したのが「親プロ」。ファシリテーターは、参加者一人一人を大事に「学習活動を支援し、促進する」という意識を持って行うことが重要です。

## ワークショップ

講師の日置さんがファシリテーターとなって、参加型学習である「ワークショップ」を体験しました。

「バースデーチェーン」「他己紹介」等のアイスブレイクからのスタートでした。「まずは心ほぐし！」の大切さを実感しながら、実際に体を動かして、心構えや雰囲気づくりのポイントを学びました。プログラムをそのまま利用するだけではなく、対象者に応じたものに臨機応変に変化させていくことも必要であること、「ワークショップは参加者一人一人が主役！」という意識をもって進行していくことの大切さも体験を通して学びました。



## 参加者の感想

- ・ワークショップでは、自分の意見を尊重してもらえ、少し自信をもつことができた。
- ・ファシリテーターとしてワークを受け持つことは難しい感じがしたが、少し前へ出て、挑戦してみると、自信が持てて、何か今までとは違う自分に出会えるような気がした。
- ・気軽な気持ちで参加したが、いろいろな方とお話するのがとても楽しかったので、ファシリテーターの活動もやってみたいと思った。
- ・アイスブレイクは、ファシリテーターのやり方、進め方で楽しい雰囲気になるのだなと思った。
- ・ファシリテーター自らがその時間を楽しむことが、参加者自身の心を解き放ち、思いを引き出すことにつながることが分かった。

